

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1626 号

Venovenous extracorporeal membrane oxygenation is effective against post-cardiotomy acute respiratory failure in adults

(成人開心術後に生じた急性呼吸不全に対する静脈—静脈型体外式膜型人工肺の有用性)

中村 裕昌 (なかむら ひろまさ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、開心術後の重篤な合併症である急性肺障害の治療法に関して検討した臨床研究論文である。急性肺障害を発症した際の静脈—静脈型膜型人工心肺 (V-V ECMO) 導入の基準および確立方法、転帰、合併症および予後因子に関して言及している。心機能が保たれている急性肺障害に対して V-V ECMO を導入することにより、約 64% の救命率を得ることができている。さらに、二次性に生じた肺障害に関しては予後不良であるが、一次性に生じた症例に関しては有用度が非常に高いことも示している。術直後という出血などの危険性が高い状態においても速やかに導入することができ、合併症発生率も低いことを併せて示している。

症例数としては少ないため詳細な危険因子の検討にまでは踏み込めていないが、心臓術後に限定した V-V ECMO の導入に関する臨床研究は少なく、今後さらなる検討を行うことが期待できる内容となっている。また、臨床的に V-V ECMO を導入する際の pit fall についても記載されており、臨床の現場において有用な意義のある論文となっている。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。